

2021年2月 (No.380)

主な内容とページ

半導体特需、加熱それとも収束	1
高水準からさらにジャンプ	2
半導体の国内生産、持ち直すも前年比では減	2
年末異変 メモリ急減	3
中国の半導体輸入、年末も好調	4
世界主要半導体企業 36 社第 4 四半期 30 社増収、11 社増益.....	5
経済危機下の最高記録、米半導体企業第 4 四半期結果.....	9
良くも悪くも半導体(SRL だより)	13

半導体特需、加熱それとも収束

半導体の供給不足が話題となり、まさに特需に見舞われている。

1. 世界の半導体需要は昨年未まで大きくジャンプ、最新統計では 2020 年通年で 6.8%増の成長を遂げ、最高記録を更新した。
2. これは当初の予想を上回る好結果で、それを裏付けるように昨年未から供給不足、値上げなど表面化した。大市場の中国も昨年未まで好調だった。
3. 今後の焦点は、特需がどのように推移するか。貿易紛争絡みの先買い、二重発注の恐れ的一方、わが国フラッシュメモリの中国向け輸出が急減するなど異変もみられ、不確定な要因もある。

良くも悪くも半導体

このところ半導体がマスコミやネットで話題になることが増えた。品不足で、自動車生産に影響を与え、最新ゲーム機は、需要に追い付かず、ファンは取り合い騒ぎ。コロナ禍で、暗くなりがちな世間で、半導体は別のよう。生産で大きな役割を果たしている台湾には、複数の政府から増産の要請が行われているとか。

永年、半導体に関わってきた経験から半導体の需給は「過剰」か「不足」のどちらか。「適正」を維持するのは大きな目標だが、容易ではない。天変地異は別として、売買は、計画をしっかりと、双方がリスクを最小にしなければならない。最低でも3か月、理想的にはそれ以上の期間をみて手当するのが常識だろう。

従って、半導体が足りない原因は、需要側の都合による面が多く、車もゲームも思ったより好調なのが反映している。しかし、世の中、半導体が足りないために車やゲームの生産に支障とみられる面もある。半導体は悪玉扱いだが、それは違う。計画取りにいかないのが現実だからといえ、難しい世の中だ。

(大竹 修)

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2021 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2021 年 2 月 (毎月 1 回発行) 第 32 巻 2 号 (通巻 380 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

February 2021, No.380

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014

Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake